

(別紙4(2))

事業所名: あったか広場一会

## 目標達成計画

作成日: 令和6年8月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	拘束については利用者本人の安全や命に関わることは必要として、その是非を適切にジャッジするとともに、違反(減算)とならないよう書面等手続きについて職員に周知することを期待します。	・身体拘束についての施設内でのルールを決め拘束の適正について職員に周知徹底する	・虐待防止検討委員会と身体拘束廃止委員会にて施設としての拘束の内容・範囲を検討し決まった内容については、書面にて職員に周知徹底しグレーゾーンを無くしていく。	12ヶ月
2	33	看取りについての職員教育やその時に備えた準備が必要。	・終末期について、スタッフが理解しチームとして対応できるようにしていく。	・ご本人とご家族の意見、意向を伺い、主治医へ相談などをしていく。職員は、看取りについての研修を内部・外部ともに行いチームとしての看取りの在り方を構築していく。	12ヶ月
3	35	2階・3階のフロアに車いすの入所者様もいる事から避難時時間計測を行い時間がかかる原因があれば改善していく。	・避難時間を計測し迅速な対応ができるよう訓練を実施する。	・避難訓練時、避難時間を計測し迅速な対応ができていくか確認しながら訓練を実施する。 ・新任・新人の職員は、訓練に参加できる様にシフトを調整し積極的参加を促す。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。